

「ヒトに対する有害性が明らかでない化学物質に対する労働者ばく露の  
予防的対策に関する検討会」における検討課題

- 1 ばく露防止対策の検討に当たっての問題と対策
  - (1) 有害性情報等の不足
  - (2) ばく露発生の可能性の評価に基づく対策のランク分け  
取扱量、ナノマテリアルの形態等による対策のランク分けなど
- 2 対策の対象
  - (1) 対象とするナノマテリアルの範囲
  - (2) 対象とする労働者
- 3 検討すべき対策事項
  - (1) 作業環境管理
    - ア ばく露状況の計測評価（ばく露評価）
    - イ 密閉構造とすべき箇所及び要件
    - ウ 局所排気装置を設置すべき場所及び要件
    - エ 排気における除じん措置の方法
  - (2) 作業管理
    - ア 作業規程の内容
    - イ 床等の清掃方法
    - ウ ナノマテリアル作業場所と外部との汚染防止等
    - エ 呼吸用保護具を使用すべき場合
    - オ 呼吸用保護具に求められる性能要件及び使用上の留意事項
    - カ 保護手袋の要件及び使用上の留意事項
    - キ ゴーグル型保護眼鏡の要件、使用すべき場合及び使用上の留意事項
    - ク 作業衣の要件、使用上の留意事項及び脱着時等の管理方法
    - ケ 製品後の保管管理
  - (3) 健康管理
  - (4) 労働（安全）衛生教育
    - ア 教育訓練の内容
  - (5) 非定常作業時（設備の補修等）の対応
  - (6) 爆発火災防止対策
  - (7) 緊急事態への対応
- 4 更なる研究・検討課題
  - (1) 情報の収集及び提供（産業保健関係者への情報伝達を含む。）（職業上のばく露限界値（occupational exposure limit）に関するものを含む。）
  - (2) 有害性の調査（動物実験の実施等）

- (3) 疫学調査  
    作業記録の保管等
- (4) 測定手法
- (5) HEPA フィルターの性能評価
- (6) 発散、ばく露防止のための工学的対策
- (7) 呼吸用保護具の性能評価
- (8) 労働安全衛生法上の取扱い
- (9) 関係府省、機関等の連携